

2023年5月11日

各位

佐世保重工業株式会社

2023年3月期決算並びに2024年3月期業績予想の開示に関するお知らせ

1. 2023年3月期決算状況（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前年度増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	12,207	△37.5	193	△75.8	680	△17.5	827	354.4
2022年3月期	19,523	△32.2	799	—	824	—	182	—

(2) 事業部門別売上高

(%表示は対前年度増減率)

	新造船部門		修繕船部門		機械部門		その他		合計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	—	—	9,234	△0.5	2,480	10.3	492	△6.4	12,207	△37.5
2022年3月期	7,465	△64.9	9,281	123.8	2,250	△18.8	525	△14.5	19,523	△32.2

2. 当期の概況

(1) 事業再構築の状況

当連結会計年度は、昨年1月の新造船事業休止後、修繕船事業と機械事業の両事業による初めての事業年度となりました。主力の修繕船事業の事業基盤の強化策については、昨年10月に新造船建造用第4ドックの修繕船併用ドックへの改修工事が完了し、艦艇工事の大型化への対応や外航客船、作業船等の修繕・改造工事などにも積極的に取り組むなど、お客様のニーズを的確にとらえ稼働率が大幅に改善されました。また新造船事業部門から修繕船事業部門への人材の異動と修繕教育も着実に進んでおり、今後の事業拡大に向けた受入態勢や製品ラインナップの強化を図るなど事業再構築計画は順調に進捗しております。

(2) 当期の業績等

当連結年度の売上高は、12,207百万円（前年同期比7,316百万円減）となりました。新造船事業の休止に伴い同部門の売上高が無くなりはしたものの、主力事業の修繕船部門において初施工の大型護衛艦、外航客船の大型修繕工事を順調に完工するとともに、保安庁船、一般商船、作業船等の各種修繕・改造工事への積極的な取り組みを強化したこと、また、機械部門においても主力製品であるクランク軸に加えて鍛鋼軸類や船用主機関用連接棒の拡販に努めた結果、両事業部門合計では前年同期比183百万円の増加となりました。

連結営業利益は、機械部門において主要材料である鋼塊価格の高騰などの影響による悪化はあったものの、修繕船部門において昨年11月からの大型修繕船用ドックの本格稼働により収益の改善を図った結果193百万円（前年同期は新造船事業休止の影響による工事損失引当金の取崩益が発生し799百万円）となり、連結経常利益は配当収益の増加などもあって680百万円（前年同期は824百万円）、連結当期純利益は827百万円（前年同期は182百万円）となり、

前連結会計年度に引き続き黒字を確保しました。

以上のとおり、当社の事業再構築は順調に進捗しており、2022年5月13日に公表しました連結業績予想数値を超過達成することができました。

2023年度においては世界的なインフレの進展もあり厳しい事業環境が予想されますが、引き続き事業再構築計画を着実に実行し、修繕船事業と機械事業の両輪による安定収益体制の早期実現と持続的な成長に向けて全社を挙げて取り組んでまいります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	13,600	400	400	400

※ 業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

【問い合わせ先】 佐世保重工業株式会社 経營業務部 川口、藤本 (0956-25-9111)
--